

RESAS を使った美里町・涌谷町の分析

2023年12月

遠田商工会

<目 次>

はじめに	1
1. 人口増減	2
2. 自然増減・社会増減の推移	6
3. 出生・死亡数、転入・転出数	10
4. 生産額総額	14
5. 地域内産業構成割合グラフ	18

～はじめに～

この度遠田商工会では、RESAS を活用した「人口増減」、「自然増減・社会増減の推移」、「出生・死亡数、転入・転出数」「生産額総額」「地域内産業構成割合グラフ」について、美里町・及び涌谷町の分析を行いましたので、ご活用ください。

<RESAS とは>

経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が無料で提供する産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。

RESAS : <https://resas.go.jp/>

1. 人口増減

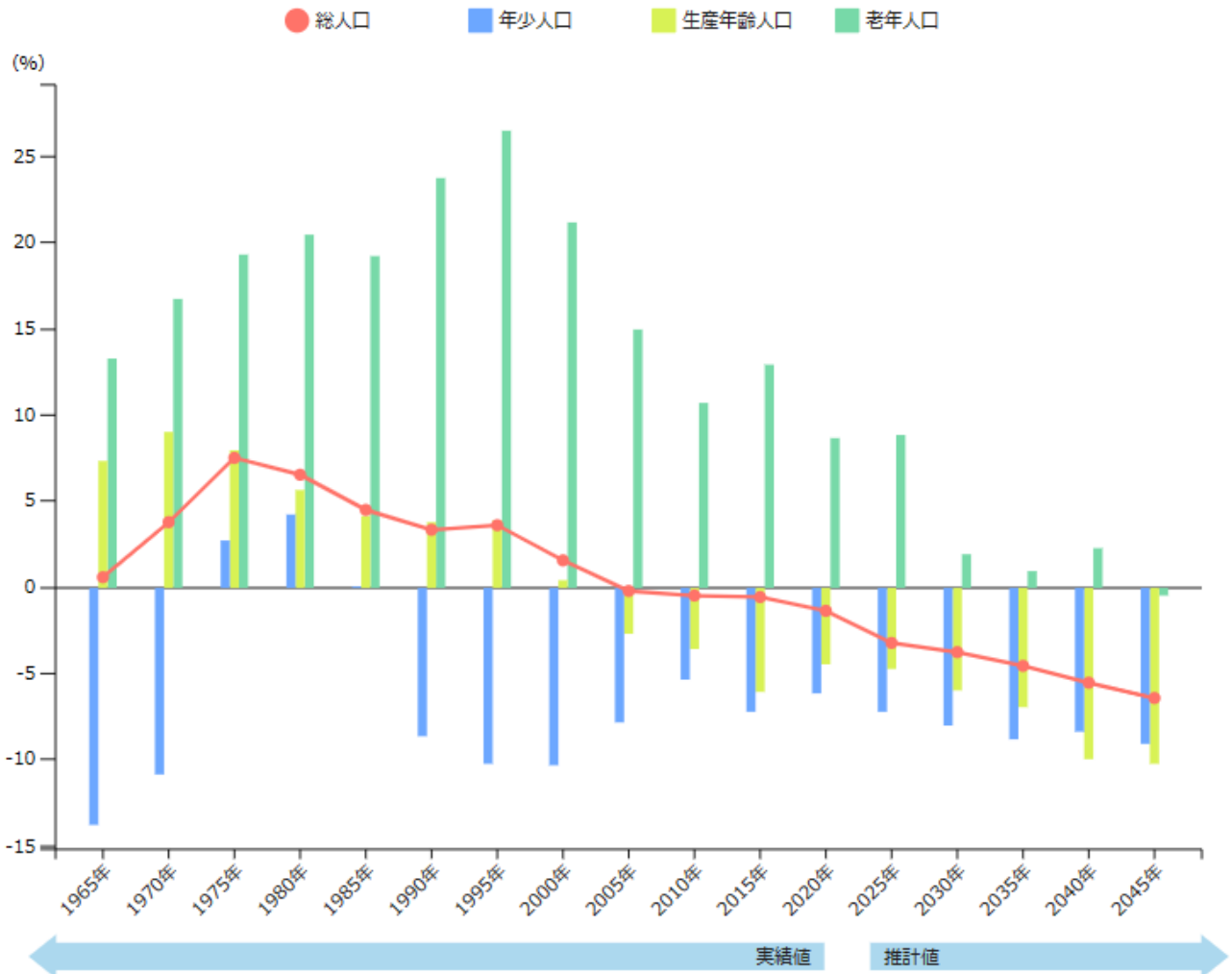
○宮城県、美里町、涌谷町全てにおいて総人口は減少傾向にある。同様に年少人口も減少している。

○生産年齢人口においては、宮城県では2000年までは増加していたが、それ以降は減少傾向にあり、美里町・涌谷町においては2000年以前から減少傾向にある。今後の見通しとしては、3カ所全てにおいて減少していく見通しとなっている。

○老年人口においては、3カ所全てにおいて1995年をピークに増加傾向にあるものの、以降は増加が緩やかになり、2025年以降は減少傾向に入る見込みとなっている。

人口増減

宮城県



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = $(A - B) \div B$

A：表示年を指定するで指定した年の人口

B：Aの5年前の人口

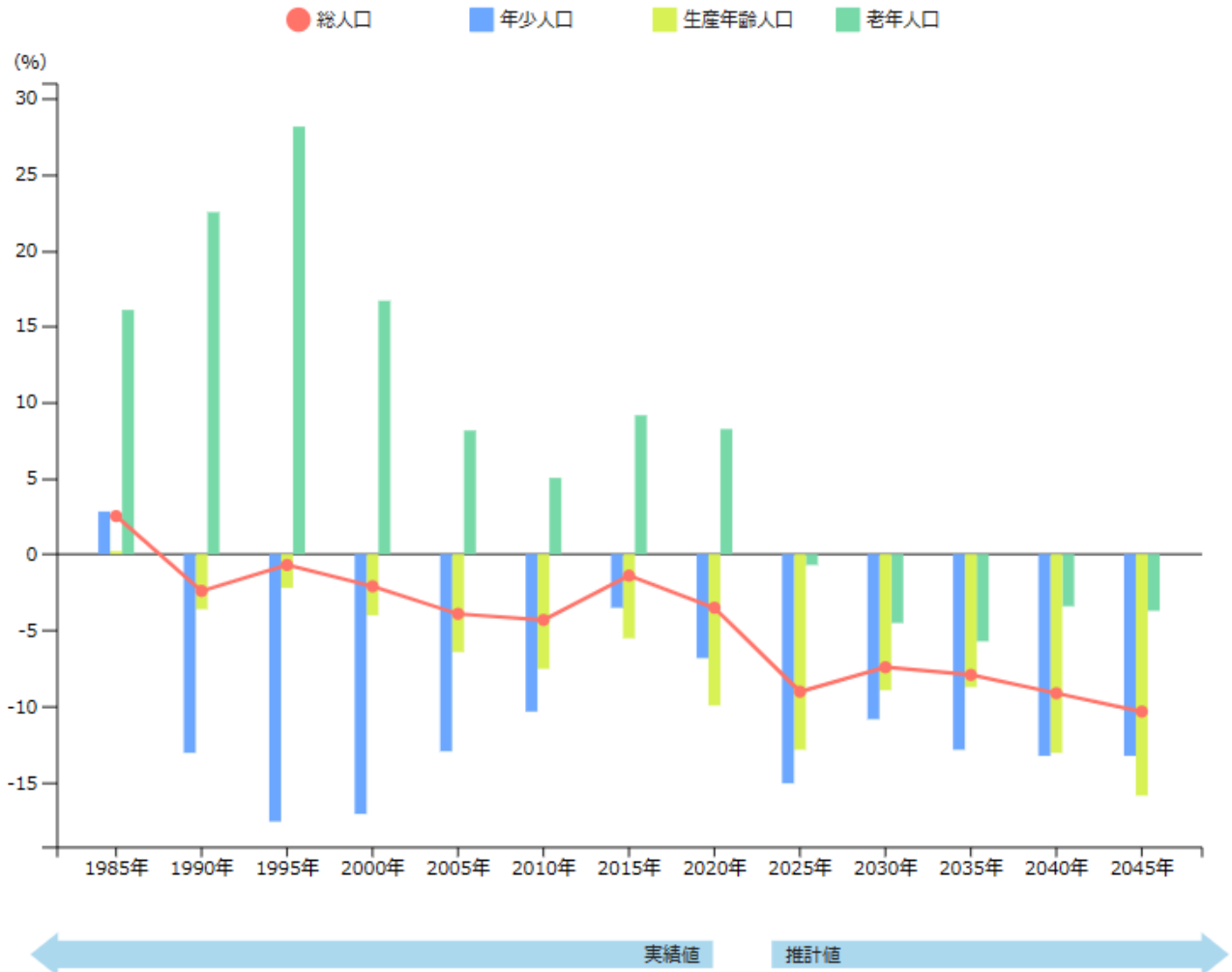
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県については、県単位での推計。

2025年以降のデータでは、12の政令市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）については、区別に推計を行っており、8の政令市（さいたま市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、熊本市）においては、市を単位として推計している。

人口増減

宮城県美里町



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = $(A - B) \div B$

A：表示年を指定するで指定した年の人口

B：Aの5年前の人口

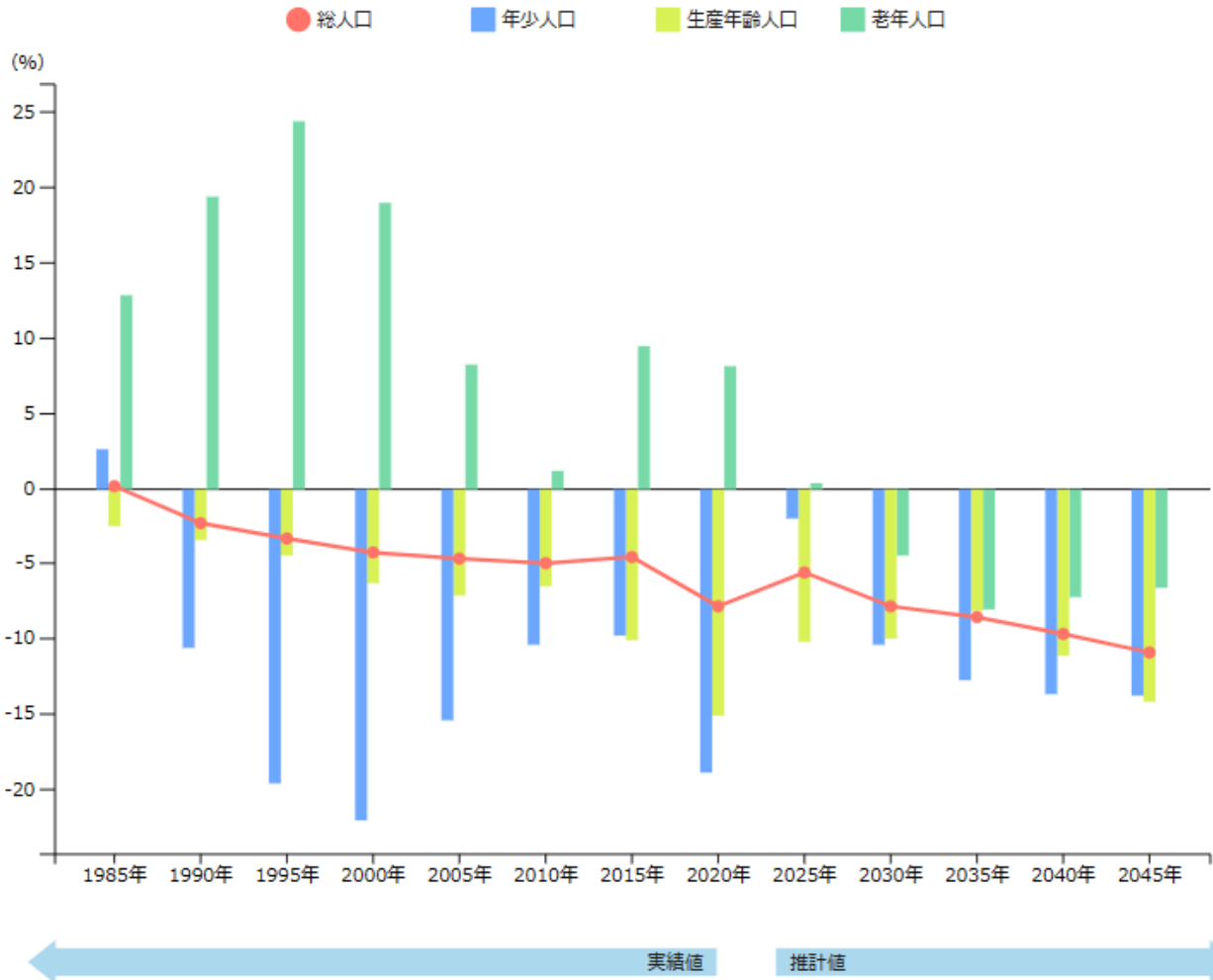
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県については、県単位での推計。

2025年以降のデータでは、12の政令市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）については、区別に推計を行っており、8の政令市（さいたま市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、熊本市）においては、市を単位として推計している。

人口増減

宮城県涌谷町



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = (A - B) ÷ B

A：表示年を指定するで指定した年の人口

B：Aの5年前の人口

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県については、県単位での推計。

2025年以降のデータでは、12の政令市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）については、区別に推計を行っており、8の政令市（さいたま市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、熊本市）においては、市を単位として推計している。

2. 自然増減・社会増減の推移

※自然増減とは出生・死亡による人口増減、社会増減とは転入・転出による人口増減を指す。

○全体の人口増減数は宮城県全体で見ると2000年以降ほぼ減少で推移している。特に2011年の人口が突出して減少しているのは、東日本大震災の影響と考えられる。美里町・涌谷町においてはどちらにおいても常に減少している状況。

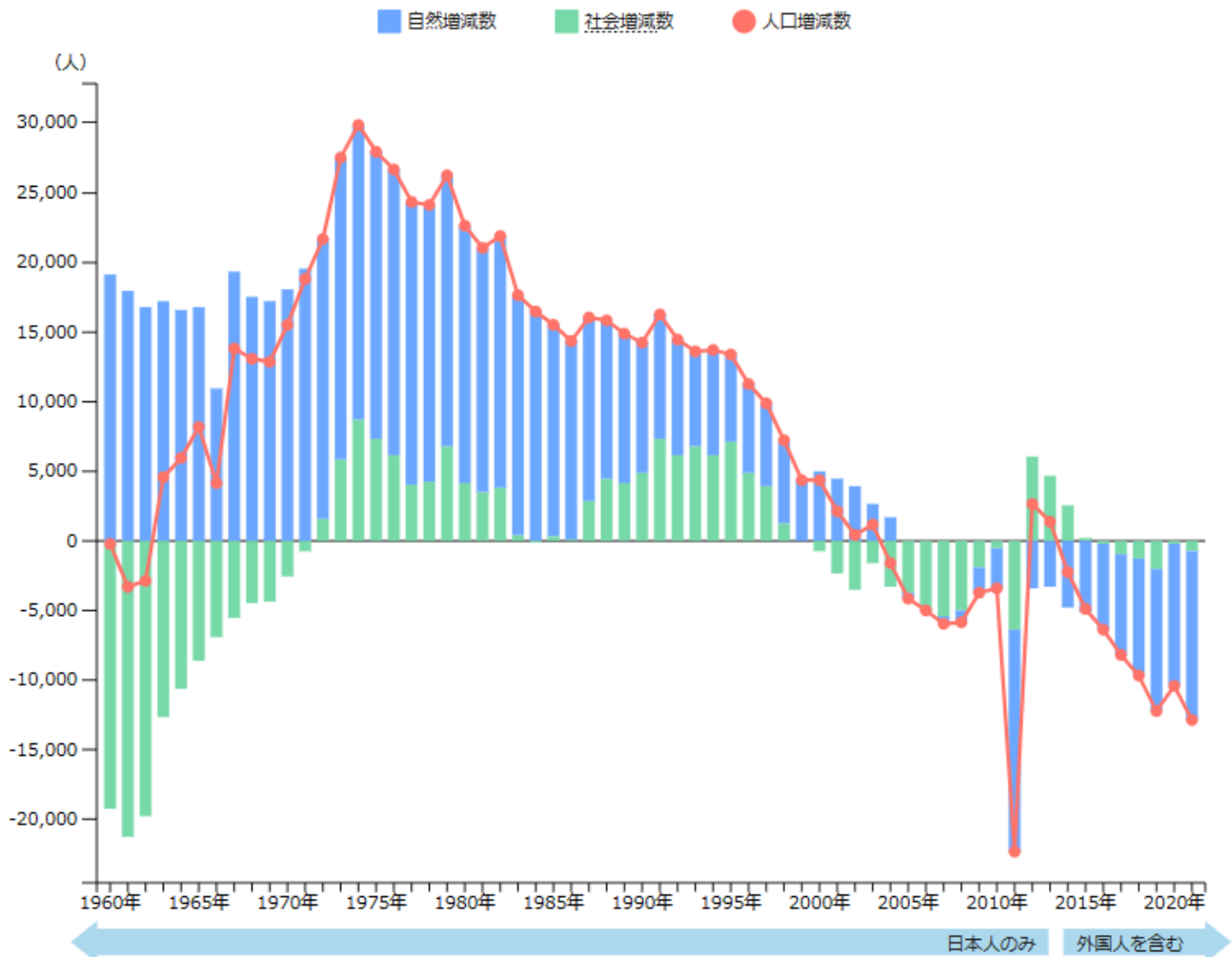
○自然増減においては、宮城県全体では2004年頃まで増加していたものの、以降は減少傾向にある。美里町・涌谷町においては常に減少しており、直近であればあるほど減少数は多くなっている。

○社会増減においては、宮城県全体では1960年～1970年頃にかけては減少していたものの、その後増加し、2000年代に入って再び減少している状況。その後一時的には増えた年もあったが、以降は大きな変化は見られない。

美里町・涌谷町においては、美里町において2012年～2015年において増加が見られたものの、それ以外では基本的には減少しており、特に涌谷町の減少数は美里町と比べて全体的に多い。

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

宮城県

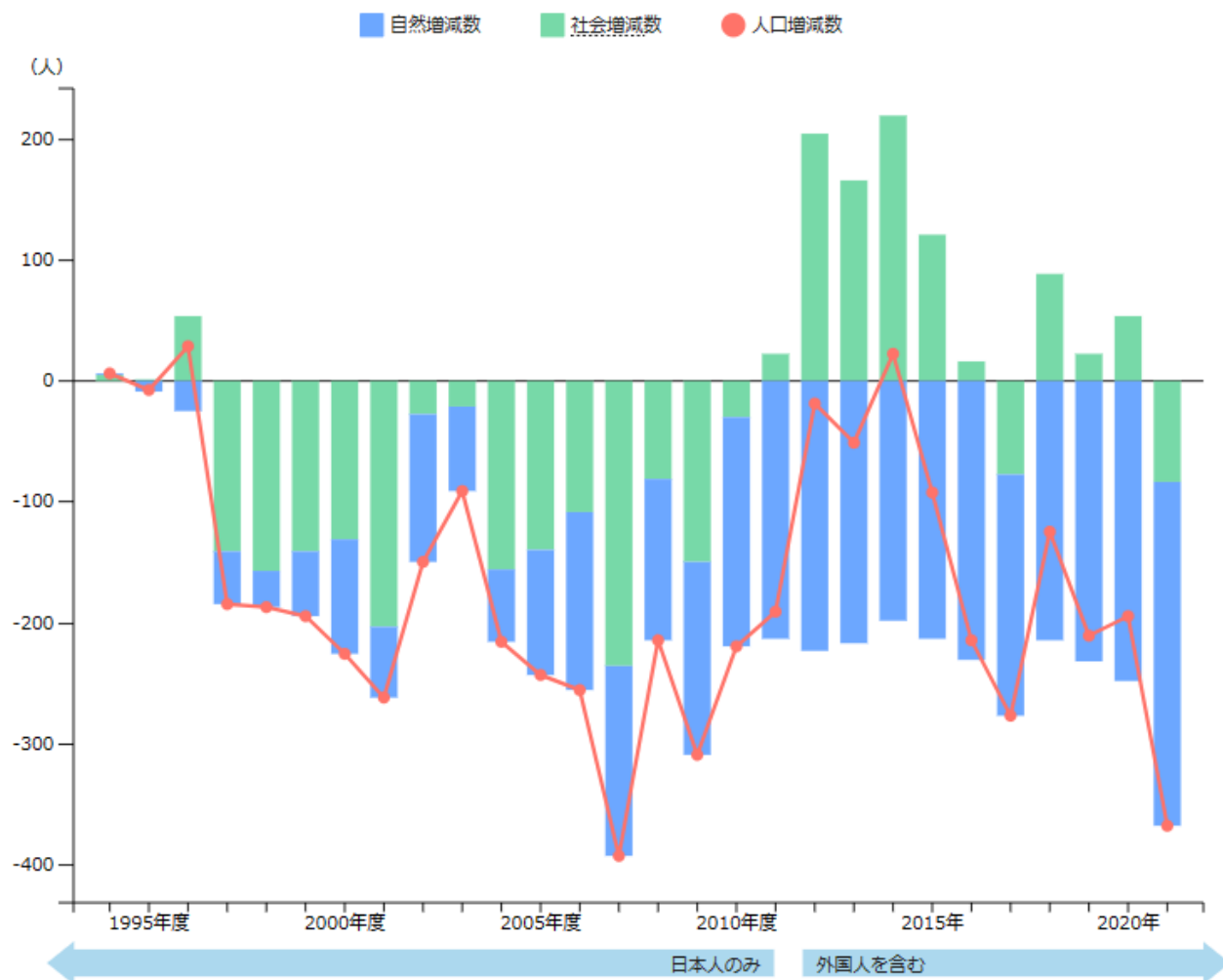


【出典】
厚生労働省「人口動態調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」

【注記】
2013年までは日本人のみ、2014年以降は外国人を含む数字。
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

宮城県美里町



【出典】

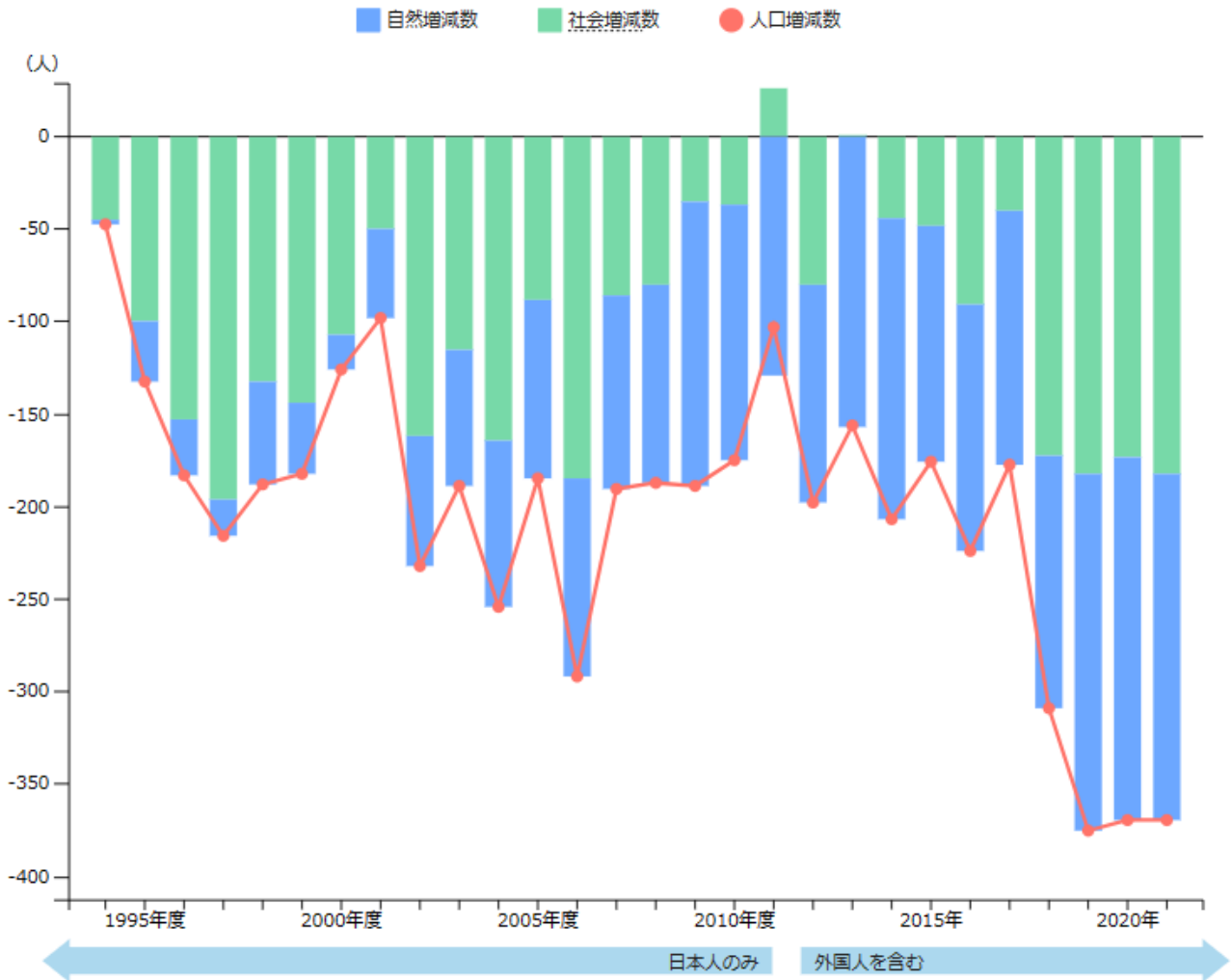
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注記】

2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

宮城県涌谷町



【出典】
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注記】
2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

3. 出生・死亡数、転入・転出数

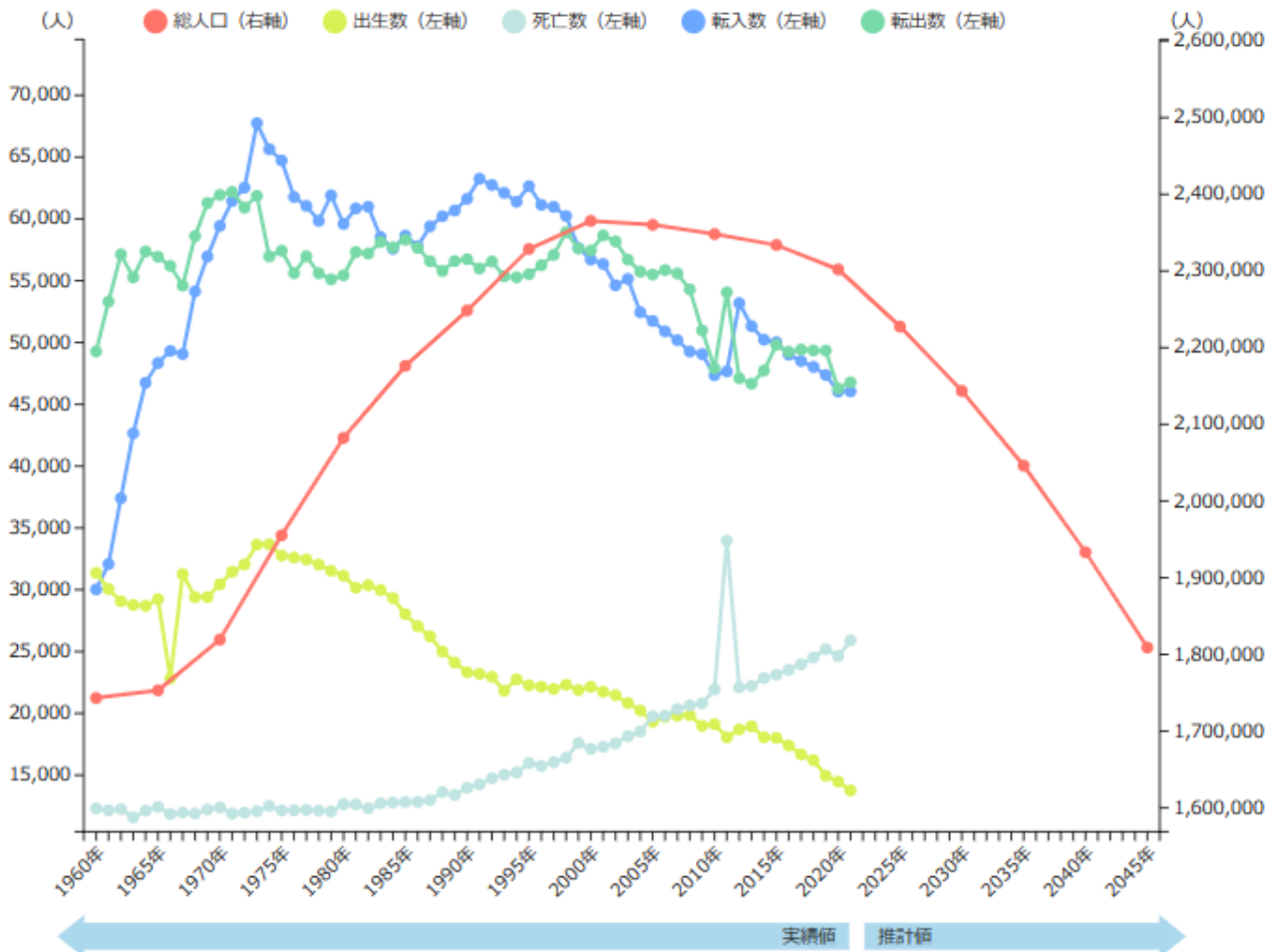
○総人口においては、宮城県、美里町、涌谷町全てにおいて減少傾向にあり、今後減少速度は更に増していく見込みとなっている。

○出生数においては、宮城県、美里町、涌谷町全てにおいて減少傾向にあり、反対に死亡数においては3カ所全てで増加傾向にある。特に宮城県において2011年の死亡数が突出しているのは、東日本大震災による影響と考えられる。

○転入数、転出数においては、宮城県、美里町においては両者の数にあまり差は見られなかったが、涌谷町においては、2010年頃より、転出が転入より上回っている状況。

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

宮城県



【出典】

総務省「国勢調査」「住民基本台帳人口移動報告年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、厚生労働省「人口動態調査」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = (A - B) ÷ B

A : 表示年を指定するで指定した年の人口

B : A の5年前の人口

転入数・転出数は2013年までは日本人のみ、2014年以降は外国人を含む数字。

本グラフについては他地域を合算することはできない。

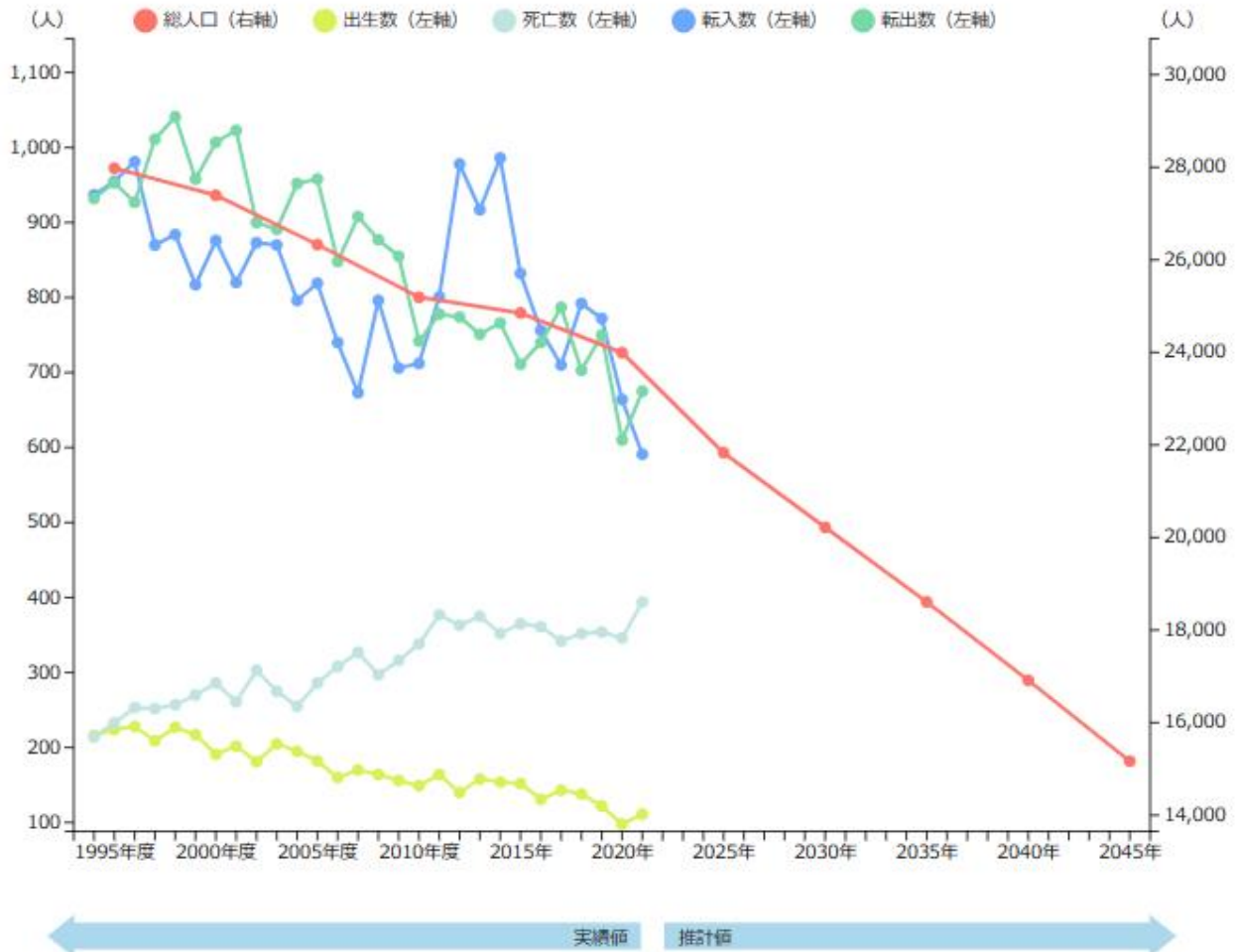
2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県については、県単位での推計。

2025年以降のデータでは、12の政令市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）については、区別に推計を行っており、8の政令市（さいたま市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、熊本市）においては、市を単位として推計している。

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

宮城県美里町



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = (A - B) ÷ B

A : 表示年を指定するで指定した年の人口

B : Aの5年前の人口

2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。出生数・死亡数・転入数・転出数は2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

本グラフについては他地域を合算することはできない。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

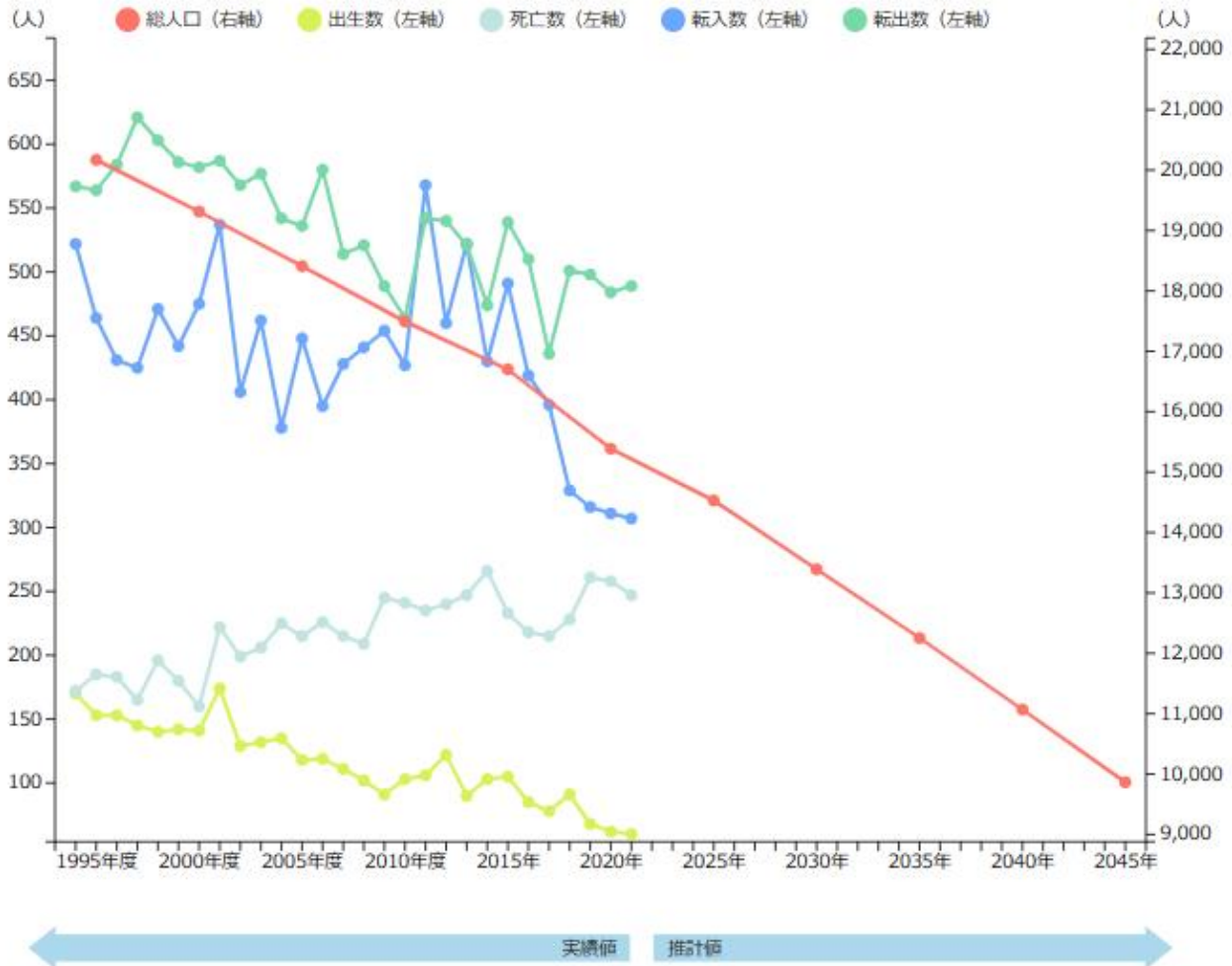
2025年以降のデータでは、福島県については、県単位での推計。

2025年以降のデータでは、12の政令市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）については、

区別に推計を行っており、8の政令市（さいたま市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、熊本市）においては、市を単位として推計している。

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

宮城県涌谷町



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口増減率 = $(A - B) \div B$

A : 表示年を指定するで指定した年の人口

B : Aの5年前の人口

2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。出生数・死亡数・転入数・転出数は2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

本グラフについては他地域を合算することはできない。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県については、県単位での推計。

2025年以降のデータでは、12の政令市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）については、区別に推計を行っており、8の政令市（さいたま市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、熊本市）においては、市を単位として推計している。

4. 生産分析（生産額総額）

～生産分析とは～

○都道府県・市区町村単位で、地域経済について生産面から分析することで、地域経済への貢献度を 38 産業分類別に把握することが可能となっている。ここでは生産額についての分析を行った。

宮城県、美里町、涌谷町における生産額の高い上位 3 業種は下記の通り。

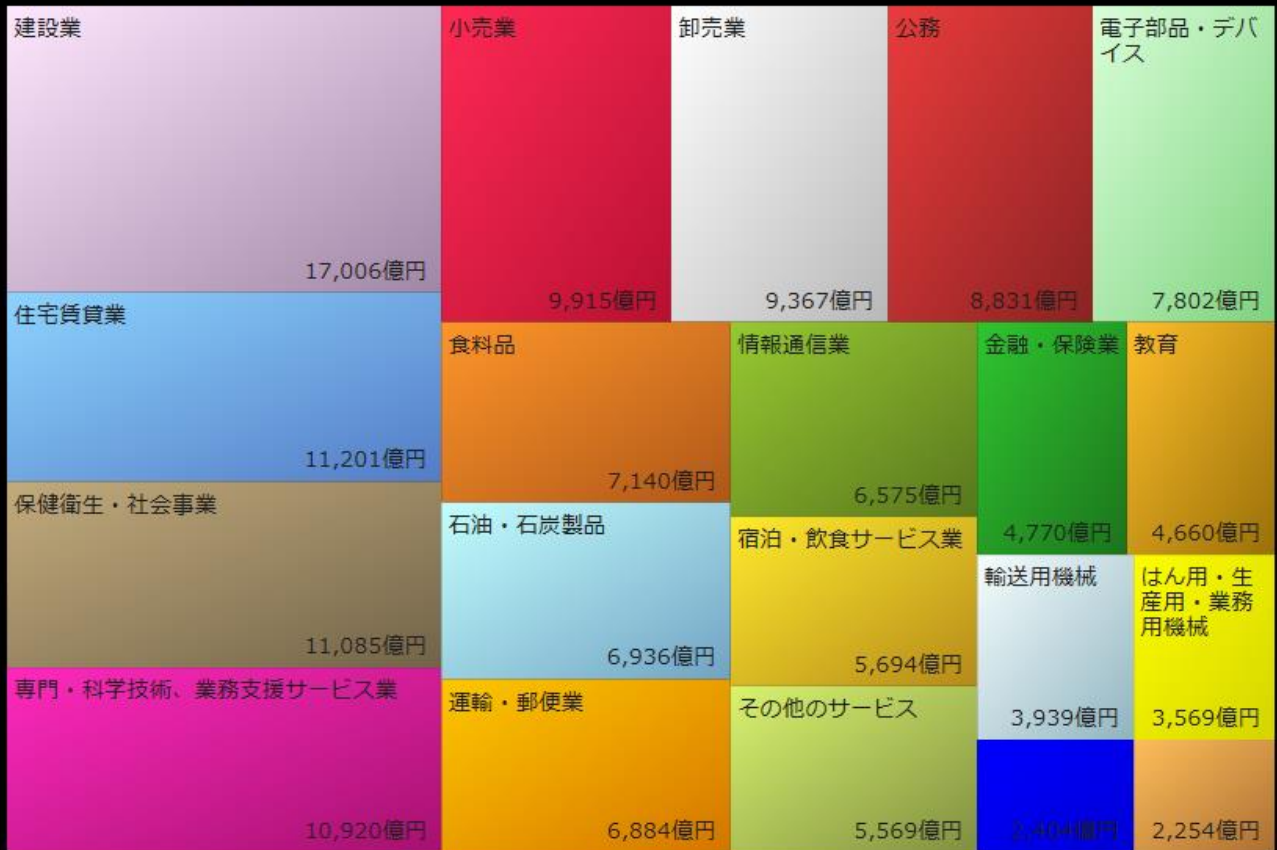
	宮城県	美里町	涌谷町
1 位	建設業	住宅賃貸業	電子部品・デバイス
2 位	住宅賃貸業	保健衛生・社会事業	保健衛生・社会事業
3 位	保健衛生・社会事業	建設業	小売業

生産額（総額）

宮城県
2018年
中分類

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

総額：167,068億円



上図以外の生産額の合算：20,546億円

生産額（総額）

宮城県美里町

2018年

中分類

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

総額：1,063億円



上図以外の生産額の合算：50億円

生産額（総額）

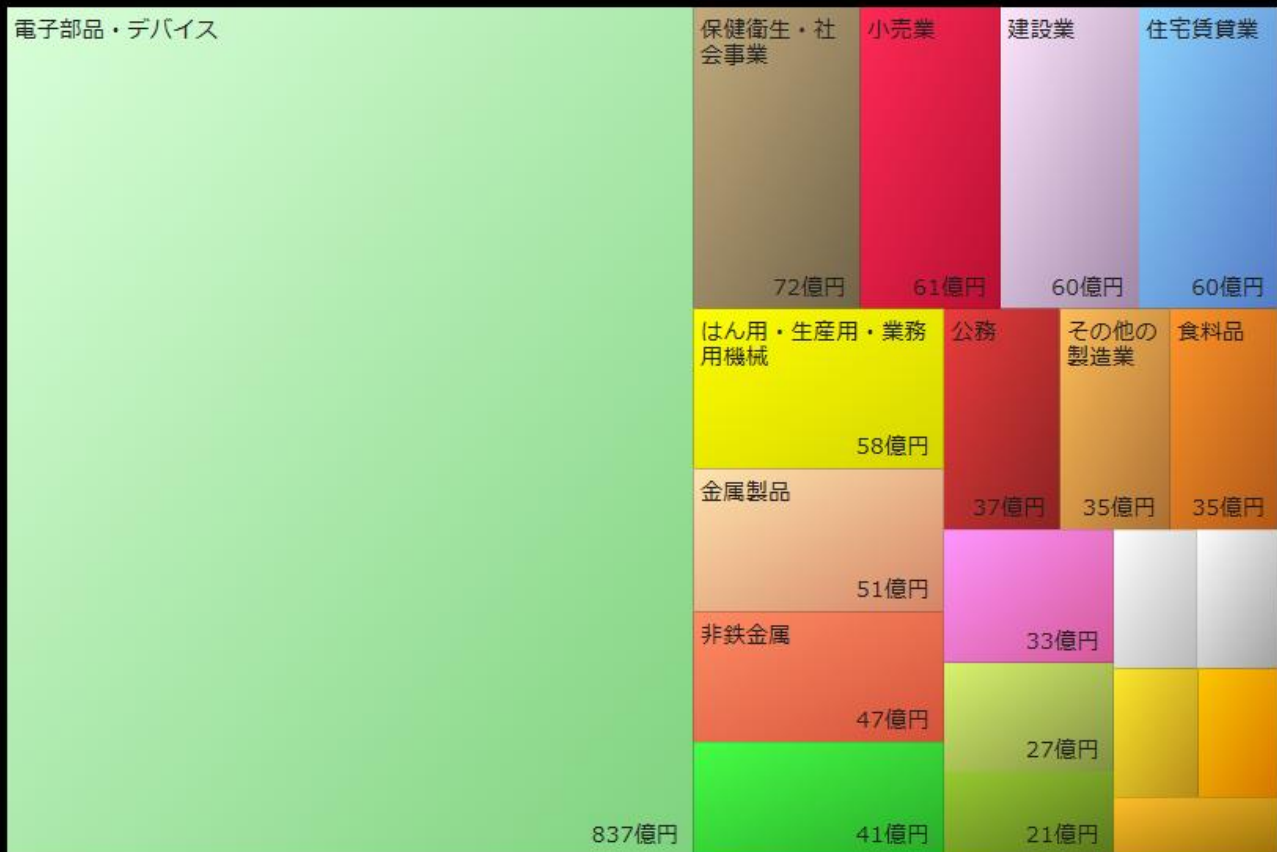
宮城県涌谷町

2018年

中分類

● 産業分類カラー ● 移輸出入カラー

総額：1,616億円



上図以外の生産額の合算：64億円

5. 地域内産業構成割合グラフ

～宮城県～

- 生産額総額においては、全国と構成割合はほぼ変わらない。
- 2次産業においては、全国と比較し「建設業」の比率が高く、「輸送用機械」の比率が少ない。3次産業においては、全国と構成割合はほぼ変わらない。

～美里町～

- 生産額総額においては、宮城県、全国と比較し1次産業の割合が多い。
- 2次産業においては、宮城県、全国と比較し「電子部品・デバイス」「その他の製造業」の比率が高く、3次産業においては「住宅賃貸業」の比率が高い。

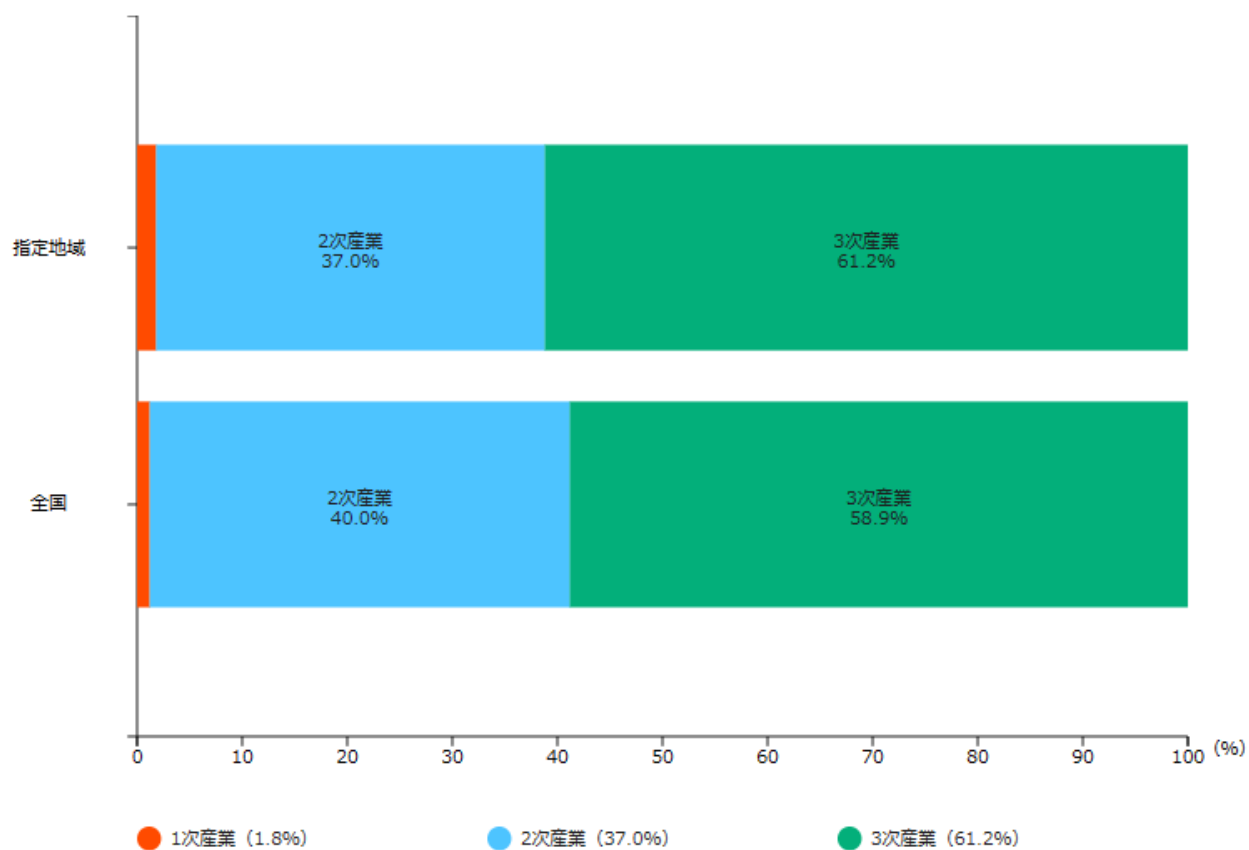
～涌谷町～

- 生産額総額においては、宮城県、全国と比較し2次産業の割合が多い。
- 2次産業においては、宮城県、全国と比較し「電子部品・デバイス」の比率が高く、全体の約7割を占める。3次産業においては、「小売業」「住宅賃貸業」「保健衛生・社会事業」の比率が高い。

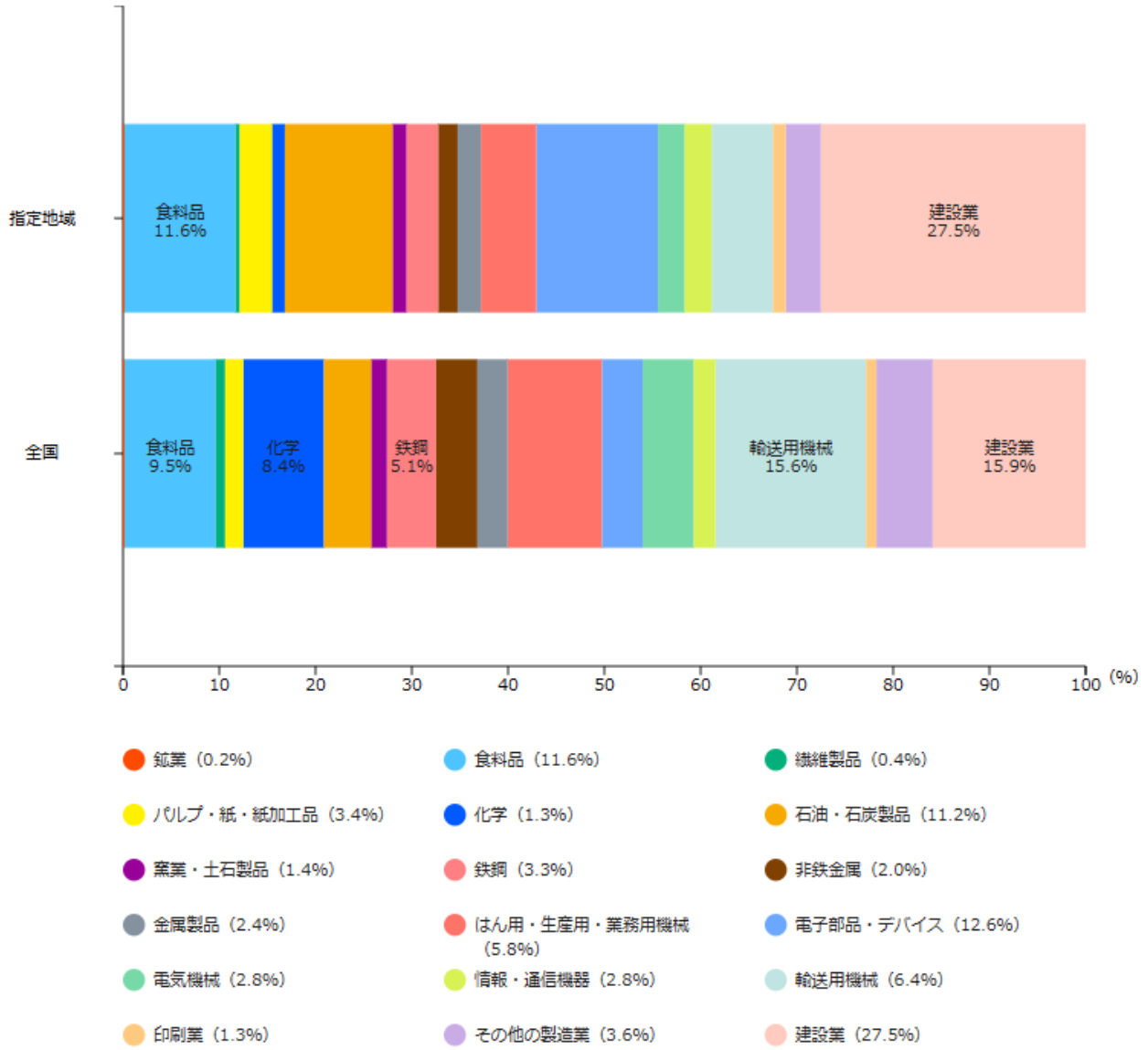
地域内産業の構成割合（生産額（総額））

宮城県

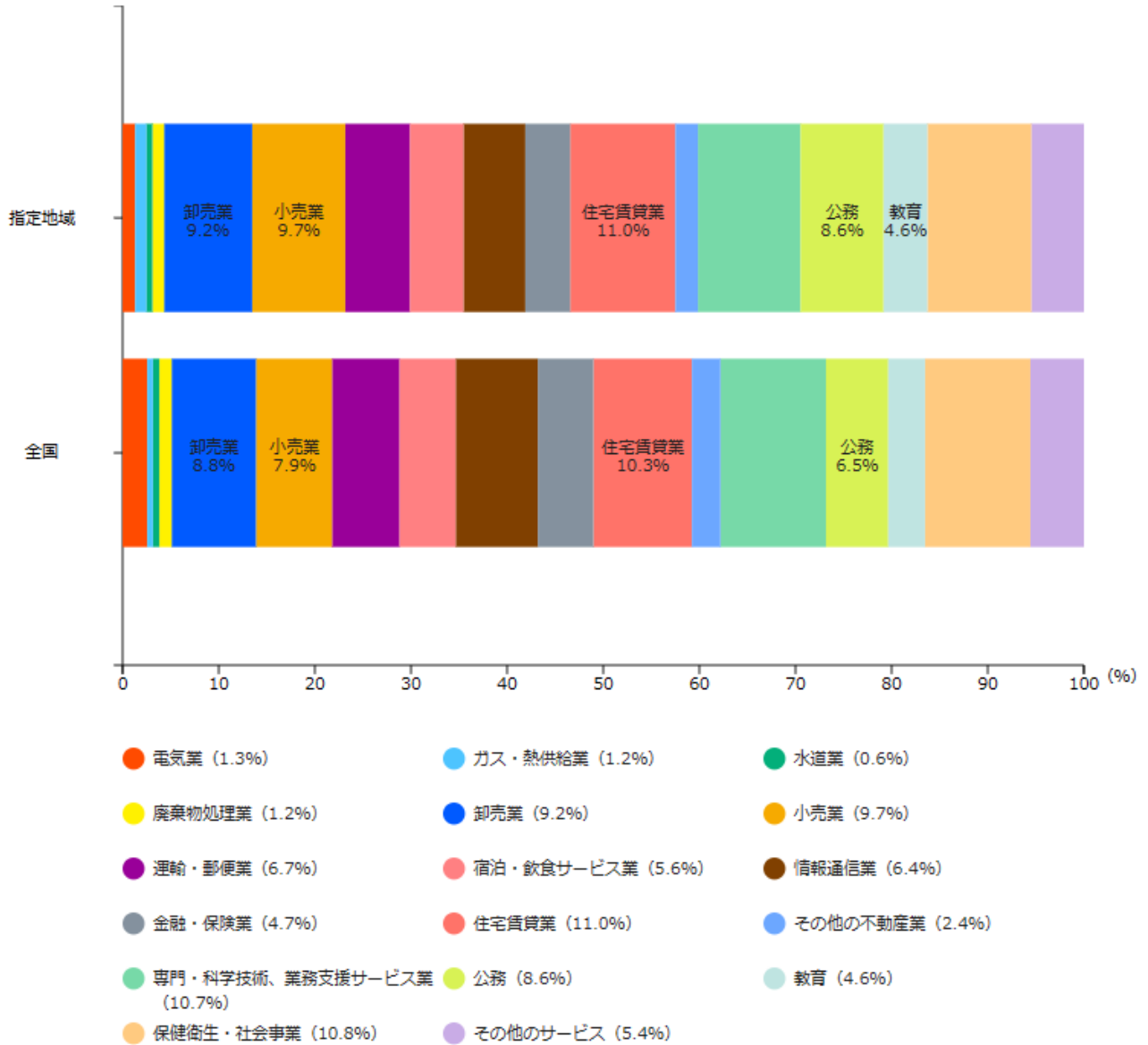
2018年



2次産業



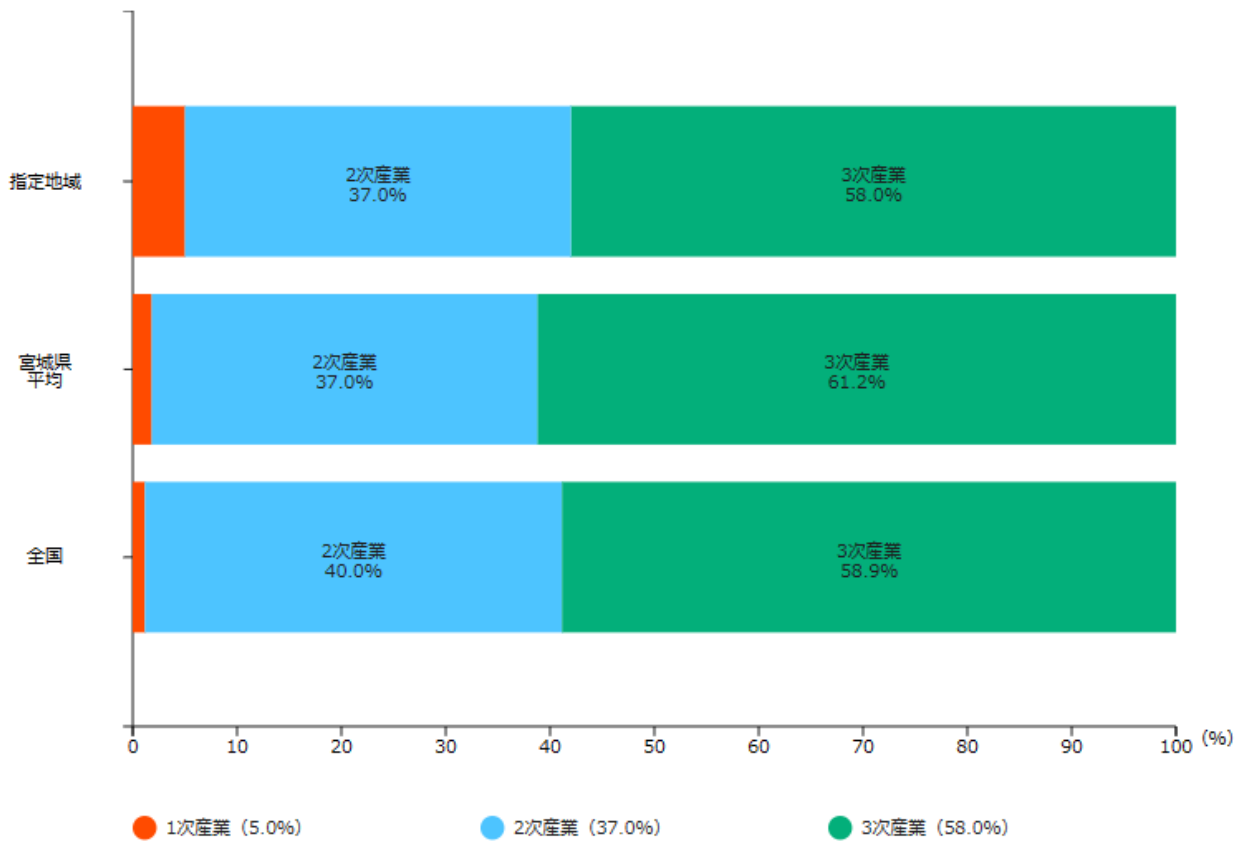
3次産業



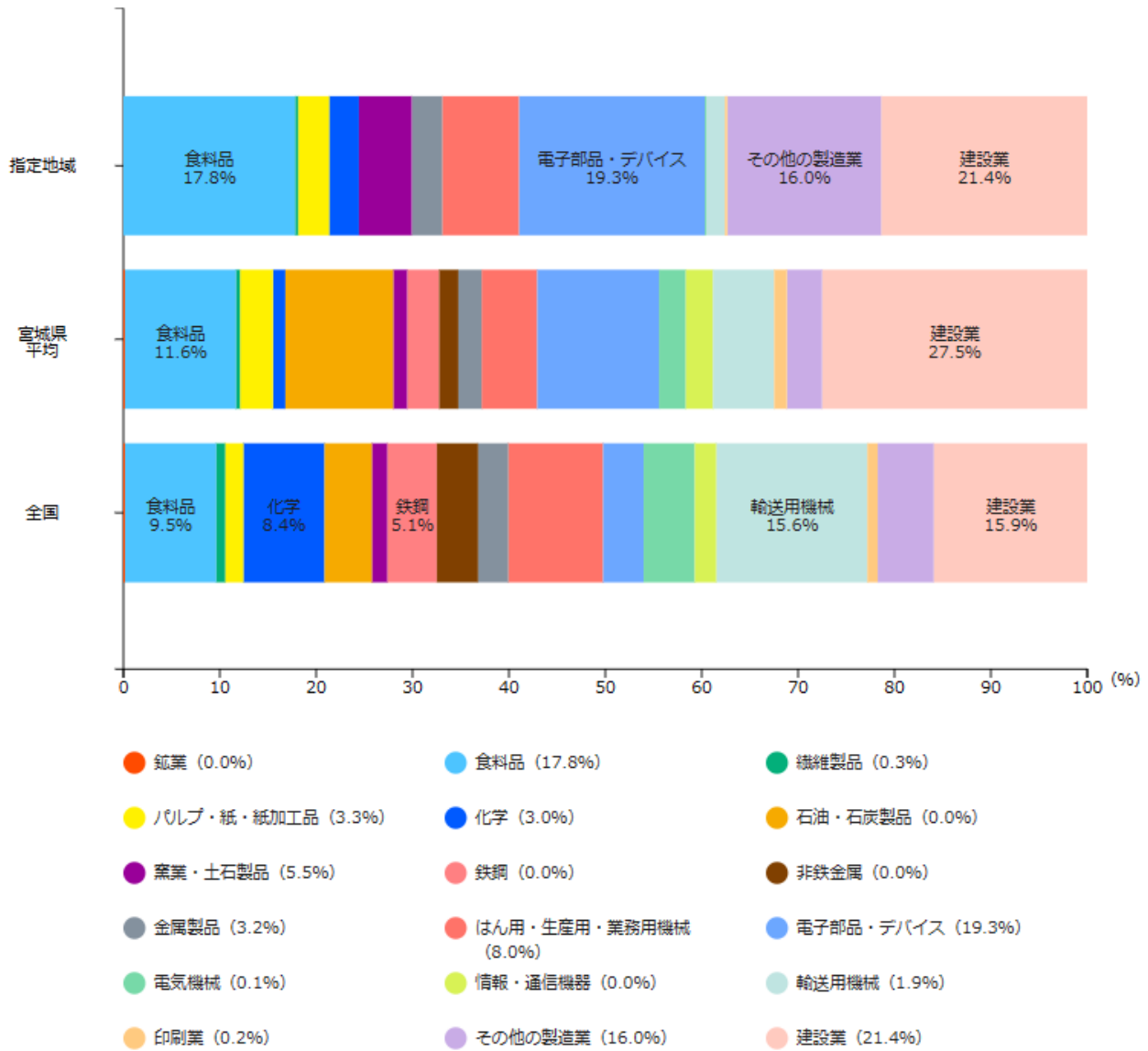
地域内産業の構成割合（生産額（総額））

宮城県美里町

2018年



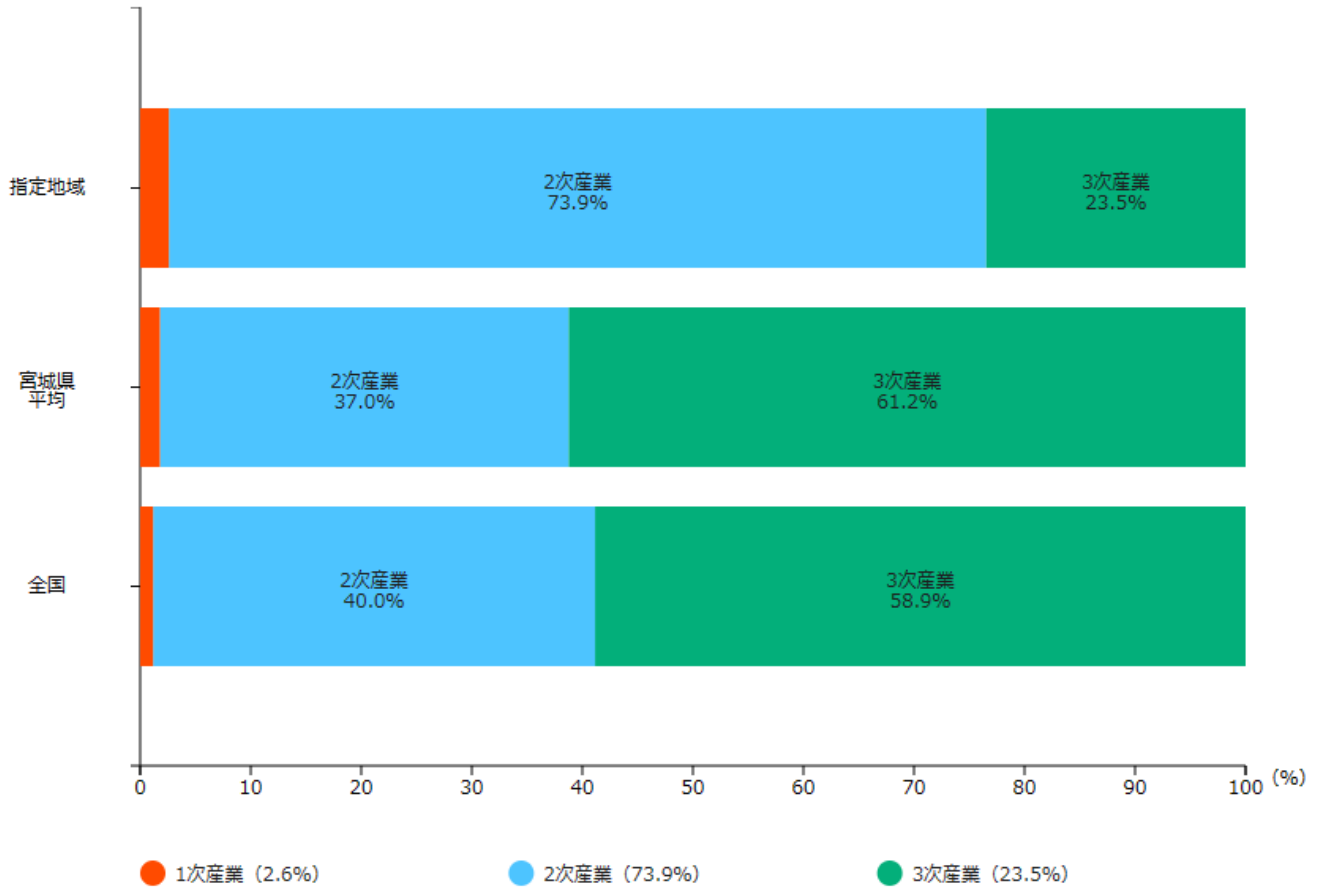
2次産業



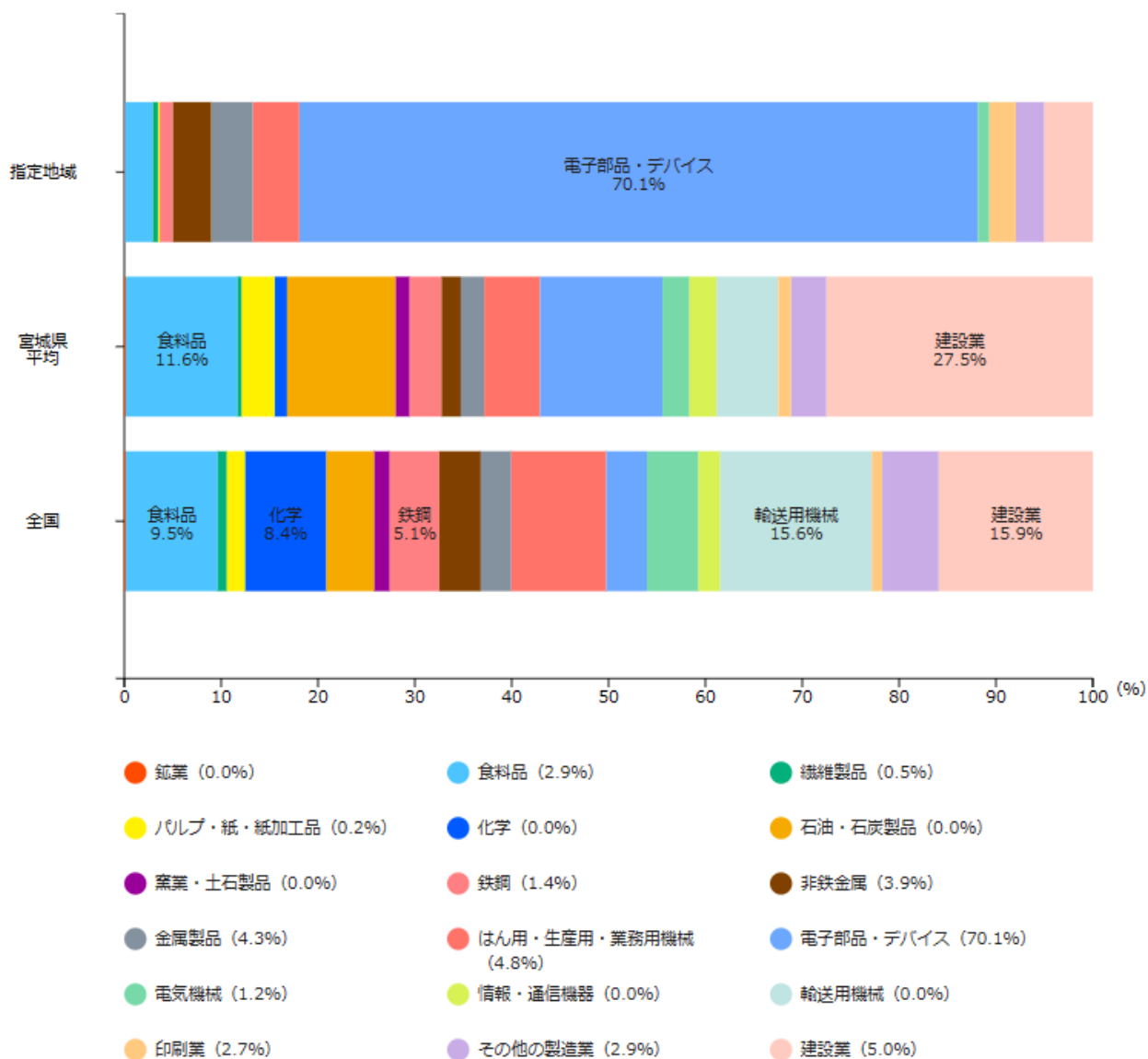
地域内産業の構成割合（生産額（総額））

宮城県涌谷町

2018年



2次産業



3次産業

